

フェーンと刈遅れに注意！収穫適期はほ場ごとに判断を

1 刈遅れによる品質低下を回避しましょう

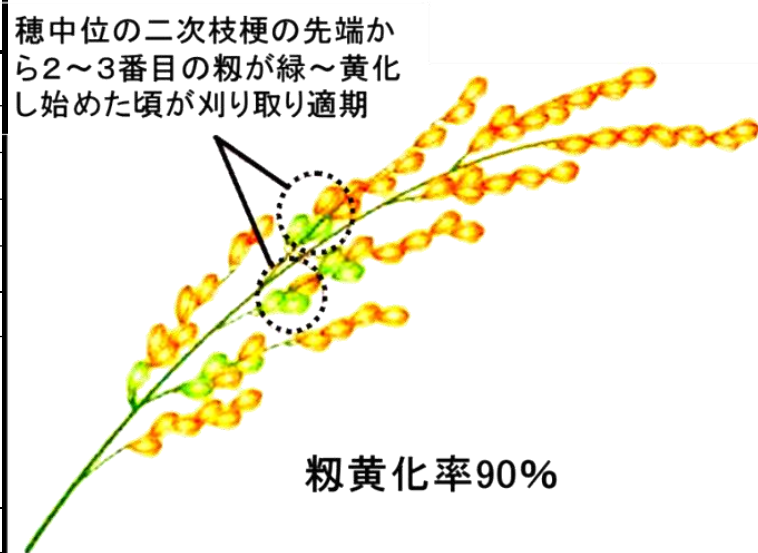
(1) 収穫適期

- 本年は出穂後の気温が高く推移しており、**胴割粒や白未熟粒の増加が懸念**されています。今後も引き続き高温が予想されているため、品質確保に向けた適期収穫が非常に重要となっています。
- 特に、出穂後 5～24 日後の 20 日間の平均気温が概ね 26℃を超える「高温登熟年」は刈遅れとなる危険が高いため、**通常年における出穂後積算温度による収穫めやすより 50℃（2日間程度）早めて収穫することが有効**です。
- 本年の早生品種は「高温登熟」となっている可能性が高いことから、飼料用米を除き、**通常年における出穂後積算温度による収穫適期のめやすより 50℃（2日間程度）早めた収穫**としてください（下表の収穫適期のめやすを参照）。
- 早生品種に限らず、高温の影響で全体的に出穂期が平年よりも早まっています。コシヒカリを含めた中生品種は今後も高温で推移した場合、収穫時期をめやすより 2 日程度早めてください（今後の情報に注意してください）。
- 収穫適期は穂全体の 85～90%が黄化し、穂の基部に緑色の籾が一部残っている頃です。出穂後積算気温のめやすや茎葉の色のみでは収穫適期は判断できませんので、必ずほ場ごとの籾の黄化状況を確認した上で収穫適期を判断してください。

表 出穂期と収穫適期のめやす（8月20日現在）

	品種名	出穂期	出穂後積算温度	本年収穫適期のめやす※1
早生	新潟次郎（飼料用）	7月18日頃	1,000℃～	8月24日頃～
	五百万石	7月20日頃	925℃	8月23日頃※2
	つきあかり	7月21日頃	925～950℃	8月25～26日頃※2
	わたぼうし	7月23日頃	925℃	8月27日頃※2
	こしいぶき	7月26日頃		8月30日頃※2
中生	こがねもち	7月28日頃	1,000℃	9月5日頃
	コシヒカリ	8月 1日頃		9月10日頃
		8月 4日頃		9月13日頃
		8月5日頃（中山間地） 8月14日頃（山間地）		9月19日頃（中山間地） 10月1日頃（山間地）
晩生	みずほの輝き	8月10日頃	1,050℃	9月23日頃
	いただき	8月11日頃	1,050℃～	9月24日頃～

図 収穫適期の籾



※1 積算温度は高田のアメダスデータ（8月20日以降は平年値）を使用（中山間地及び山間地は関山のデータを使用）。今後の天候で適期が前後する場合があります。
※2 早生品種は通常年における出穂後積算温度より 50℃早い日をめやすとして表示。

(2) 収穫作業

- 高温により品種間の出穂期差が小さいことから、ほ場ごとの出穂状況を確認し、作業が競合しないように適切な作業計画を立ててください。
- 収穫適期頃の籾水分が低い状態でフェーン現象に遭遇すると、日を追って胴割粒率が高まるので、速やかに刈り取ってください。

2 適正な乾燥と丁寧な調製で整粒歩合を高めましょう

(1) 乾燥作業

- 生籾を長時間放置すると色沢や品質が低下します。収穫した籾はなるべく早く乾燥機に張り込み、通風と循環を行ってください。
- 毎時乾燥水分は 0.8%以下とし、籾水分が高い場合は送風温度を低めに設定してください（初期水分 28%の場合は 40℃以下、24%の場合は 50℃以下に設定）。
- 立毛胴割れが見られる場合や収穫時の籾水分が 20%以下の場合は、通常の送風温度より 5～10℃低めの送風とし、毎時乾燥水分を 0.5%以下としてください。
- フェーン現象時の収穫などで籾水分のばらつきが大きい場合は、籾の張り込み後数時間程度の通風乾燥を行ってください。その後半日程度貯留して水分ムラを解消させてから再度加熱乾燥を行ってください。
- フェーン現象時に乾燥を行う場合は、日中は常温の通風乾燥としてください。点火は夜間温度が下がってから行い、送風温度を低めに設定してください。

(2) 調製作業

- 籾すりは籾の温度が常温近くまで下がってから行い、脱ぶ率が 80～85%になるように調製してください。
- 未熟粒や被害粒が多い場合は、必要に応じて 1.90mm のふるい目や色彩選別機を活用し、確実に 1 等米に仕上げましょう。
- 品種が切り替わる時は、必ずコンバイン、乾燥機、調製機等の清掃を行い、異品種の混入を防ぎましょう。

※ コンバイン事故の発生防止 走行中の転落や横転、整備中の事故、手こぎ時の巻き込まれ事故の発生が多いので注意！
※ 農作業時の熱中症予防 時間を決めて水分を取るなど、こまめな水分補給を行いましょう！

※ かん水に要する経費（ポンプ購入・借上、ポリタンク購入、ポンプ燃料費等）を支援します。
詳しくは、上越市農政課（025-526-5111）または妙高市農林課（0255-74-0027）にお問い合わせください。

お問い合わせ先(TEL) 上越農業普及指導センター：025-526-9406 JA えちご上越農業対策課：025-527-2050